

(議長)

次に、「小笠原淳夫議員」の発言を許可いたします。

「小笠原淳夫議員」

「小笠原淳夫議員」

それでは3月定例会において一般質問を3点にわたり、4部門について、4項目について質問させていただきます。しばらくぶりの一般質問ですので、考えてみると何か内容が簡単で随分軽いと思いつつ、1つ質問しますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

1番上に「北海道新幹線について」の質問をします。この件については総務産業常任委員会ですか、それで事務調査で立ち上げた経緯もあります。なんせ新幹線については協議ある訳ですから、その点も含めて質問します。

1つ目に新幹線の名称ですけれども、2015年に開業するという事で、情報によるとまだ名称が決まっていなかつて聞いています。したがつたあの名称については「新函館駅」が最もふさわしいと。自分でそんな風に思ひつています。ですから江差町も声を大きくして「新函館駅」という風にしてもらえればという、そんな事であの町長に質問します。どうして新函館かという事については、今更言うまでもないのだけれども、函館市は日本国中で知らない人がいない位有名な都市です。歴史についても古い産業についても何と言ひますか、北洋漁業の始めた所から言つても、観光についてもどれを取つても日本国中でもトップクラスの都市です。その名前をやつぱりつけるべきだとそんな風に思ひつています。何かあの北斗市の方では、何かさうでもないような話もちらほら聞けけれども、その辺も併せて町長の考えを聞きたいという事です。

2つ目は道路の件ですけれども、新幹線開業についてはまだ国道はさつぱりあの工事やつてゐる状況も見えないし、よく聞く話ですけれども、江差までには高速道路並みの道路をつけてもらいたいというさういふ声が随分あります。もしそれが出来れば江差から30分位で行けるだろうと思ひますので、30分になれば相当経済効果もあるだろうし、その辺も含めて、その道路の見通しと言ひますか、町長の考え方も併せてお伺ひしたいという事です。

(議長)

はい、「町長」

「町長」

議員会長の小笠原さんの質問でありますから、前向きに考えたいと思つてお

りますが。

始めにあの新幹線の駅の名称について要望と言うか質問でありましたが、報道等でも北斗市及び函館市それぞれが駅名の要望を行う議会決議をしたようでもありますけれども、新駅の名称は運行主体である JR 北海道が新駅に出来る地元自治体や北海道等との意見を参考に決定する事になってる訳であります。議員のお考えは私も十分わかりますが、江差町として駅名要望は差し控えるべきと、このように考えている次第でありますから、ご理解いただければと思っております。

また、道路整備に関するご質問でありますけれども、道路管理者である函館開発建設部と沿線自治体との意見交換を毎年開催している状況にあります。これまでは道路の安全性の課題を中心とし、トンネル整備、規制の検討、除雪対策などの意見交換であります。議員ご承知の様に函館から江差間の国道227号線は北斗市にできる新幹線駅と直結した道路となり、新幹線駅利用者が檜山へ向かう重要路線になる訳であります。現時点における国道227号線の整備計画は道路を所管する函館開発建設部としても予算確保に努力している様であります。情報としては中山登坂車線の整備に着手し、現在調査設計を実施中と聞いている状況であります。私も新幹線開業により交通環境は大きく変わるものと考えており、関係町とも連携し、また道路管理者を含めての道路環境の整備促進を機会あるごとに議員会長の意見も踏まえて、要望して参りたいとこのように思っておりますので、ご理解いただければと思います。

(議長)

いいですね。

「小笠原淳夫議員」

よくわかりました。ただ道路についてはですね、政治的な要素もあるのかとそんな風に思っています。今までよく国政の選挙については、自民党の議員は自民党の候補はよく北海道7区ですか、8区か。8区には自民党の代議士がないから、公共事業がこんなに減ったんだと。自民党の代議士出ればどんどんやりますよというそういう事を声高らかに言っていた経過もあるし、それは今回あの自民党候補が代議士になりますのでその辺期待をしたいなと思っております。

(議長)

「町長」

「町 長」

どこの議員が国会議員になればどうなるかというのは私はわかりませんが、先程申しました様に新幹線駅とこの227号線のリンクする状況はですね、まさしく小笠原議員ご指摘のとおりです。重要路線になってくるという風に思っておりますので、沿線自治体と共々、更なる努力をしていきたいと思っておりますのでご理解いただければと思います。

(議長)

いいですね。2番目の質問。

「小笠原淳夫議員」

次に移ります。「集会所の建替え」についてを議題とします。町内にはそれぞれの集会所が集会施設がありますけれども、中には相当あの古いものもあるようです。ただ悪い所は毎年修理をして使っているという事も知っておりますし、今年予算においてもそれなりの予算を組んでいるという事もよくわかっておりますけれども。ただあの中に高齢者の方がおまして、結構苦勞して使っているというそういう声があります。これはどういう事かと言うと、課長にも話しましたがけれども、高齢者の女の方がですね、集会やってもトイレ行く場合は古いトイレは使えないと言うのです。そして集会の最中に家へ行って用を足してくると、何人もそういう話聞きましたし。男性の場合は立ってするから大した関係ないのだけれども、考えてみますとそういう人方も若い頃は随分元気だったのだけれども、いつの間にか年取ってしまった、そのような状況です。町長の執行方針にもある通り、安心して住民の町内会とか自治会との活動の中核となる集会所を、結構お金もかかるだろうし、何とか年度ごとにも建て替えできないのかとそんな思いで質問しているところです。よろしくお願ひしたいと思います。

(議長)

「町 長」

「町 長」

集会所の建替えについてのご質問でありましたが、環境住宅課で管理している集会施設の実態は議員ご指摘のとおりであります。築37年以上経過した集会施設等が6施設あり、25年度予算にも計上しておりますけれども、随時点検を行いながら計画的に修繕及び改修工事を進めていきたいと思っております。

ご質問にある早期建替え計画につきましては、毎年の様に建築された時代と

は大きく変化しており、地域事情も変化してきておりますが、現在ある施設の計画的な改修等を進めながら、地域の利用者の方々にご不便をかけない形で町内会や自治会活動に利用していただく事と考えており、集会施設等の建替え計画はなかなか今のところ持てないという状況でありますので、出来るだけ施設のこの維持管理に万全を期して考えていきたいという風に思っておりますので、ご理解の程お願いを申し上げます。

「小笠原淳夫議員」

今の町長の答弁に期待をして次の質問に移ります。

(議長)

「小笠原議員」、3問目ですね。

「小笠原淳夫議員」

最後の件ですけれども、「防雪柵の設置について」という事ですけれども、これはあの3月2日の道東地方のですか、中標津の周辺で9の方が亡くなったというそんな情報もありますので、江差町にも結構農村部の方へ行くと水堀から鹹川間の間、地吹雪がひどくて大変な所がありますし、2日の日も相当吹雪になっておりますので、人事でなく何か防雪柵を作られないのかなと思っている所です。

何か町民の命を守るとそのような意味からしても何とか町長の所信をお伺いしたいとそんな事でございます。

(議長)

「町長」

「町長」

防雪柵の設置についてのご質問でございました。議員ご質問の町道鹹川線ですが、確かに3月2日の日は江差町でも最大瞬間風速が31mを超える猛烈な吹雪に見舞われました。そのために全道各地で吹き溜まりや交通障害が起こったことは報道で理解をしている所であります。特にご案内のとおり、道東方面では悲しい出来事が多発し、尊い命も失われており、心からお悔やみ申し上げる次第でありますけれども、有効な対策として防雪柵の設置は否定するものではありませんけれども、防雪柵を設置する上です、地権者の協力・理解が必要になってくる訳です。田畑所有者の理解等をですね、これはあの防雪柵を設置すれば畑が田んぼが固まってしまうと。こういう苦情も多い事から設置し

ないでくれという話もまた反面ある訳であります。

それらの事が最大の課題となってくると思っておりますが、この間道路パトロールの強化や除雪作業に万全を期していきたいと考えておりますけれども、今の自然環境をみますとなかなか議員ご指摘の様な環境がいつ来るかわからないという状況下の中ではですね、やっぱりあの所有者の理解も含めた方向性も検討していかなければならないかなという風に思っておりますので、前向きな答弁にはなりませんけれども、努力すると誓って答弁させてもらいたいと思います。

「小笠原淳夫議員」

せっかくの機会ですからもう1回発言します。

(議長)

はい。「小笠原淳夫議員」

「小笠原淳夫議員」

防雪柵にはそういう問題があるという事もなかなか知りませんが、ただ2日の日はですね、私も鹹川で組合の会議があつてちょうど午後から出かけました。ちょうど猛吹雪に遭って、先が見えなくて止まったら後ろ追突されるかなと思ったり、前に行けば前の車停まってたらぶつかるかなと思ったり、そんな思いをしてやっと行きました。考えてみると江差町にはまだまだこういう所があるなと思つて。例えばあの小黒部の万寿山周辺とか。何と言いますか朝日の学校から向こうの方ですね。そういう所も含めて、1つ考えてほしいとそういう事です。

(議長)

「町長」

「町長」

防雪柵を設置するにも本当に先程申しました様にこの場所が重要な場所だと思いつつも地権者が設置しないでほしいという声もあつたりしましてですね、なかなか町の方としてもあるいは道道に面していると土現の方の立場でもですね、厳しい環境になっている訳であります。地域事情それこそ連携を取りながらですね、要望してまいりたいという風に思っておりますし、町道に関してはできる限り地権者の了解等々も含めた形で考えていきたいと思っております。

「小笠原淳夫議員」

はい、わかりました。

(議長)

以上で、「小笠原淳夫議員」の一般質問を終わります。